

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 8 月 24 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (8/24 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	39.0	107.0 kPa abs	A系： 0.00 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 5.0 m ³ /h	54.5	5.11 kPa g	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 4.3 m ³ /h	54.0	0.21 kPa g	A系： 0.26 vol%
		給水系：約 2.6 m ³ /h			B系： 0.25 vol%

*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【1号機】・8/24 15:15 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.5m³/hから約 3.0m³/hに調整(炉心スプレイ系からの注水量は約 2.0m³/hで継続)。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (8/24 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	30.5
2号機	循環冷却システム	運転中	31.3
3号機	循環冷却システム	運転中	30.0
4号機	循環冷却システム	運転中	38

【1号機】・8/24 14:40~15:28 使用済燃料プールへの海水の注入実績はなく、プールライナーの腐食の可能性はないと考えているが、微生物・藻等の発生による使用済燃料プール内の視認性の低下を考慮し、使用済燃料プールへヒドラジンの注入を実施。今後2~4号機と同様に、使用済燃料プールへのヒドラジンの注入を適宜実施予定。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [プロセス主建屋]	8/22 11:22 ~ 移送実施中
	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [プロセス主建屋]	8/24 13:09 ~ 移送実施中
	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [プロセス主建屋]	

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (8/24 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

以 上